

令和4年度 延岡市立恒富中学校 学校関係者評価書

学校の教育目標

知性高く、心豊かで、自律的に行動できる生徒の育成

段階評価 4 期待以上 3 ほぼ期待どおり 2 やや期待を下回る 1 改善を要する

評価項目	評価指標	学校の自己評価コメント	自己評価	関係者評価	学校関係者評価コメント
主体的な探究	1 個別最適化による、学習指導の工夫・改善がなされ、4+4のチェックポイントによる「分かる・できるまで教える授業」を展開しているか。	<ul style="list-style-type: none"> ◆確認テストや生徒による授業評価、机間指導をとおして、生徒一人一人の理解度を把握し、不十分な生徒には休み時間等に個別指導を行った。 ◆4+4のチェックポイントは、特に指導内容の精選とテンポや間に配慮すること、平均をやや下回る子どもも理解できる内容とすることを意識して行った。 ◆ロイロノートやキュビナ等のICTを活用した個別最適化した学習指導を工夫していきたい。 ◆予測・見通しを立てた取組をしていかなければいけない。今後、教材研究を綿密におこない、基礎基本を徹底的に理解・定着させる手立てを考え、実践したい。 	4	4	<p>●知・徳・体、延岡No.1の成果かな？でなければ、どこにどんな問題がある？恒中はもっともっと優れていて欲しい。</p> <p>●「主体的に考えること」は社会で最も求められるスキルだと思います。それを学校教育のなかで育める環境はとても素晴らしいです。</p> <p>先生たちも生徒達が主体的に学べる環境づくり（コメントにある生徒が問いをもつような課題づくり）を行うことにより、スキルアップができていらっしゃるのではないのでしょうか。大変素晴らしい学校だと思います。</p> <p>●校内研修の授業研究会等を通して実践を深められている。</p> <p>●授業内容を子どもに合わせた点が良いと思った。理解が不十分な生徒に対しての個別指導は、生徒が理解を深めることができる良い時間だと思うので継続してほしい。</p>
	2 主体的に学び、探究する力の育成のために、考える時間の確保ができていますか。	<ul style="list-style-type: none"> ◆考える時間を各授業で確保し、その時間は教師からの助言を減らし、生徒が考える活動に集中できるようにしている。 ◆授業の中で話し合いの時間や自分たちで調べてまとめるといった時間の確保はできているが、活動の充実についてはまだ課題が残る。もっと明確で簡潔な課題提示の下で活動させるための教材研究を深めていく。 ◆子どもが主体となる学びとするために、生徒が問いをもつような課題設定となるよう意識している。また、課題設定後は、個人思考の時間を確保することや、協働による課題解決などの学習形態を工夫している。今後は、教師による資料提示から、生徒が自ら情報を収集し、収集した情報を取捨選択する力を育成していく。 	3		
	3 教師の指導力・授業力を向上させるために、校内研究が充実できているか。	<ul style="list-style-type: none"> ◆一人一授業を通して、他の先生方の授業を参観でき、自分自身の指導力・授業力の向上を図ることができた。 ◆メンターチームを作って、授業研究会を行い校内研修の充実を図ることができた。今後は、自由にお互いの授業を参観できるような仕組みづくりを行うと良い。 ◆継続すべき指導法、改善すべき指導法を整理し、学力向上に努めたい。公開授業や研修授業を通して、粘り強くコミュニケーション（発言等）を行う態度を育成するためにも授業の中で適確な場面設定を熟考することが大切だということを感じている。 	4		
豊かな人間性	1 学校行事、生徒会活動等を通して、協力して活動する心情を育て、互いを賞賛できる態度を養うことができていますか。	<ul style="list-style-type: none"> ◆学校行事、生徒会活動に積極的に参加する意義について生徒と考えることができた。また一生懸命に行事や生徒会活動に取り組んでいる生徒に対し賞賛の言葉をかけることができた。行事等を通して、生徒の成長が見られた。 ◆生徒たち自身がいろいろと考え、活動することができている。 ◆合唱コンクールや学級経営コンクール、駅伝大会などの学校行事において、1つの目標に向かって、友達と協力することの大切さやすばらしさを実感できるような学級経営を行っている。 	4	4	<p>●美しい学習環境（窓ガラス一枚に全く曇りが無いなど、小さいことだけど、そこに豊かな人間性は表れると思うのですが・・・）今はもう一歩。美しい環境は、美しい心を育てると思うのですが？</p> <p>●トイレのスリッパ並びはvery good。まじめな生徒、しつけ良好の証ですね。</p> <p>●「いじめは絶対に許さない」という姿勢を強く大切にされていらっしゃる事が分かります。道徳教育の場を授業に限定せず、日常場面にまで拡げようとしていらっしゃる先生方の努力に感動しました。</p> <p>●平穏な1年だったのではないのでしょうか。コロナ禍で元気に過ごせていれば何よりです。</p> <p>●合唱コンクール等の発表を見させていただいて、子供たちのまとまりや頑張る姿を感じることができた。授業参観でも生き生きと楽しそうに授業を受ける姿がみられた。生徒会が中心となり、代々続けられている「いじめをなくす運動」にこれからも力をいれてほしい。</p> <p>●職員間で絶えず情報が交換され、共通理解の上に立った一貫性のある指導・支援がなされている。</p> <p>●生徒の行事を楽しむという気持ちや態度を評価に入れることは難しいが、大切にしてほしい。</p> <p>●教師の些細な言動で生徒が傷つくこともあるので、この環境づくりは是非続けていってほしい。</p>
	2 道徳の時間だけでなく、全教育活動との関連を図り、道徳的実践力を育てることができていますか。	<ul style="list-style-type: none"> ◆道徳の時間の充実だけでなく、そこで学んだ価値などを日常場面で伝えたり、学活の時間などを活用したりすることで、身近な状況での道徳的な視点で話したり伝えたりできている。今後もこれらを継続していくことに加え、もっと幅広い場面で意識していく。 ◆担任以外も道徳授業を担当することで、生徒に多様な道徳的価値観を教えることができた。しかし、授業をとおしての生徒の変容について共通理解をする場がなく、全教育活動との連携を図ることができていないのが現状である。 ◆生徒の発言の中で、気になる文言があればその都度話をしたりすることができた。しかし、それが道徳的実践力を育てることに繋がったかは実感がない。 	3		
	3 人権意識を高め、体罰やいじめのない認め合う教育を実践できているか。	<ul style="list-style-type: none"> ◆ピアサポートのアンケートを実施し、生徒と人権について考える機会を持つことができた。 ◆あだ名や小さなからかい、いたずらさえも絶対に許さない環境づくりを徹底してクラスの中で行っている。また、教師自身が模範として規律を重んじて行動することで、より説得力を持ち、いじめや暴力はどんな理由があっても許してはいけない環境をつくっている。この環境は必ず壊すことがないように今後も徹底する。 ◆学級においては、いじめは絶対に許さないという姿勢を4月の学級開きから徹底している。また、ちょっとしたちょっかいや心ない発言や行動が見られた際には、決して見逃さずその場で指導している。 	3		

評価項目	評価指標	学校の自己評価コメント	自己評価	関係者評価	学校関係者評価コメント
健康・安全・体力の向上	1 体育の授業・部活動・保健安全体育的行事を充実させ、体力向上を意識した取組ができているか。	<ul style="list-style-type: none"> ◆部活動で毎日の練習内容を生徒のレベルによって変え、体力向上を意識して取り組んでいる。 ◆体育大会や駅伝・ロードレース大会は素晴らしい取組を見せてくれた。 ◆コロナ禍の中で運動する機会が減少しているが、本校では、ロードレース、駅伝大会をはじめとして生徒の精神的、身体的な鍛錬に努めている。 	4	3	<ul style="list-style-type: none"> ●登下校の交通マナーに、もう少し気くばりが欲しい。じゃまになっているのも見かけます。 ●授業始まり、終わり、発表、立腰など、ちょっとしまりが無い。 ●立腰指導については、そもそも学校ではなく家庭で取り組む事で、先生方を悩ませている現状を申し訳なく感じます。避難訓練などは、生徒たちが楽しく体験できるカリキュラムを継続的に行っていただきたい。 ●我が家も反省すべきところですが、学校教育については先生方はちゃんとやってくださってます（恒中においては）。家庭でやるべき教育を先生たちが「できなかった」「至っていない」と反省しなければならない事がそもそも先生たちの負担では。 ●基本的な生活習慣を、家庭と連携を図りながら身につけさせたい。
	2 立腰指導の徹底、保健指導の推進、性教育の推進を通して、望ましい生活習慣を身につけさせることができているか。	<ul style="list-style-type: none"> ◆立腰指導は、朝の会・帰りの会で話を聞くときや授業の最初と最後の挨拶場面に指導しているが、全校統一で意識を高めていかなければならない。 ◆保健指導や性教育については計画的に行われている。課題は立腰指導の徹底である。出来ていなければやり直しをさせるという意識を持てていなかった。 ◆立腰の姿勢が乱れているときに声をかけることができた。最低限はしていると思うが、徹底・推進しているまでに至っていない。 	2		
	3 安全教育・避難訓練等により、自分の命は自分で守ると意識を高めることができているか。	<ul style="list-style-type: none"> ◆避難訓練は実施できたが、その後の発展がなく生徒の深い学びにつなげることができなかった。 ◆問題が起こる前に早めに呼びかけを行い、生徒たちの声を聞く姿勢をもたなければいけないと痛感した。 ◆避難訓練は、訓練の目的をしっかり理解させ、真剣に取り組ませるとともに、授業時間以外や学校外で災害が起きたときにどのように行動すればよいのか、自分の命は自分で守ることの大切さを常に考えさせるようにしている。また、常時指導として、校内放送中は「動きを止める」「無言で聞く」を指導している。 	3		
信頼される学校づくりの推進	1 全職員の共通理解に立った、一貫性のある生徒指導体制を確立することができているか。	<ul style="list-style-type: none"> ◆職員会議等で共通理解ができおり、全体での判断の下で、生徒指導体制をつくるができている。今後は問題が起こったときに素早い対応ができるような組織づくりの改善が必要である。 ◆生徒指導主事を中心に、各学年主任、各学年職員で連携して生徒指導の諸問題に対応できている。 ◆学級や学年、部活動、どんな小さな事でも共通理解を行い、全職員で生徒指導にあたるよう報告・連絡・相談を心がけた。また、年度当初に共通理解した服装・容儀面を含む学校生活のきまりについては、ぶれない指導を行った。 	4	4	<ul style="list-style-type: none"> ●恒中が、リーダーシップのとれる学校であって欲しい。地域には期待と協力の意識はあると思います。 ●高い評価の恒富中に、あぐらをかいていないですか？もっとアピールできる・する恒中であって欲しい。自信をもって。 ●子どもたちには中学校のうちから地元愛を育んでもらいたいと思っています。（事業者としても、人口減や流出による10年後の採用に非常に危機感をもっているためなおさらのこと・・・）地域との連携は学校の努力だけではなく、地区や青少協等だけではなく、事業者やOBの主體的な協力が必要。 ●学区内の事業者として子どもたちの教育に携われない事を少し残念に思っています。会社としても、SDGsの学びの一環として継続的に小学生・中学生と学べる場を今後つくっていきたくと考えてます。（子どもたちとの関わりが社会にもつながるため） ●先生方のご苦労が目につかぶ様です。保護者とのコミュニケーションも図りにくい中、ご尽力に頭が下がる思いです。生徒・教職員・保護者全てが生きやすい働きやすい世の中になって欲しいものです。 ●コロナによる制限も少しずつ緩和され地域との交流も活発にできるようになるのでは・・・。青少協の意見発表会が子供たちに少しでもいい活動となっているのであれば大変嬉しい。 ●地域の支えがあつてこそその恒中生なので恵まれた環境にいることを再認識し、地域の交流の場を増やしていただきたい。 ●大変良い指導体制。組織的に緊密な連携を図りながら実践されている。コロナ禍の中、活動を制限せざるを得ない状況の中でも地域活動が実践されている。 ●共通理解を徹底している点が素晴らしいと思った。
	2 コミュニティ・スクールとして保護者・小学校・地域との連携充実を図り、一貫した生徒の育成に努めることができているか。	<ul style="list-style-type: none"> ◆地域活動やはげまし隊などを通して、コミュニティ・スクールが活発化しているとともに、保護者や生徒にその現状を周知することが出来ている。さらに、地域人材をもっと活用し、保護者とも目標を共有し、「社会に開かれた教育課程」の実現を目指していきたい。 ◆地域活動において、地区ごとではあるが、生徒一人一人が住む地区に出向き、地域の方々の活動を行っている。さらに、地域との連携のあり方について考えていきたい。 ◆生徒の地域活動、青少年意見発表会、はげまし隊、小中合同研修会等、地域の中で生徒を育てる環境が整ってきている。 	3		
	3 自分の住む地域や延岡に誇りをもち、貢献しようとする心を育成できているか。	<ul style="list-style-type: none"> ◆地域活動等を通して、地域の一員であることの自覚が芽生えていると思う。 ◆地域活動はあるが、その日だけの取組みになっている地区が多い。地区別に時間をとってグループワーク等できると良い。 ◆朝の会や帰りの会、授業等において、延岡と関連する情報や歴史等に積極的にふれ、誇りをもてるようはたらきかけているが、驚きや共感にとどまっております、貢献しようとする心の育成には至っていない。今後は、地域に貢献できることはないかを考えさせる機会を意図的に設けていきたい。 	3		
[次年度の方向性についての校長所見]		※ 関係者評価書を、令和5年度の学校経営方針策定に生かし、よりよい学校経営に務めたい。			